

相澤病院が「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。

相澤病院は、令和2年1月1日付けで、厚生労働省より「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。また、がんゲノム医療拠点病院である信州大学医学部附属病院と協力しながら、がんゲノム医療が適切に提供されるよう努め、情報共有や人材育成も行います。

がんゲノム医療連携病院の概要

ゲノム医療を必要とするがん患者が、全国どこにいても、がんゲノム医療を受けられる体制を構築するため、国が定めた整備指針に基づき、国が指定します。

がん医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院と連携しつつ、遺伝子パネル検査による医療の提供、遺伝子カウンセリングの実施やがんゲノム医療に関する情報提供などの役割を担っています。

遺伝子とは

遺伝子は体をつくための情報の1単位です。たくさんの遺伝子があり、それぞれ遺伝子の機能は異なります。

ゲノムとは

ゲノムとは、遺伝子をはじめとした遺伝情報の全体を意味します。

がんゲノム医療とは

主にがんの組織を用いて、遺伝子を網羅的に調べ、一人一人の体質や病状に合わせて治療などを行う医療です。

がん遺伝子パネル検査とは

主に、がんの組織を用いて、1回の検査でがんに関連する多数（100以上）の遺伝子を同時に調べる検査です。がんゲノムプロファイリング検査とも言います。一部は保険診療となっています。

遺伝カウンセリングとは

遺伝についての専門知識をもつカウンセラーによるサポートおよび心理精神的なケア。医師やカウンセラーは、遺伝に関する様々な悩みや、不安を抱えている人を対象に、適切な医療情報の提供、遺伝学的検査の検討、心理社会的問題に対する支援など行っています。

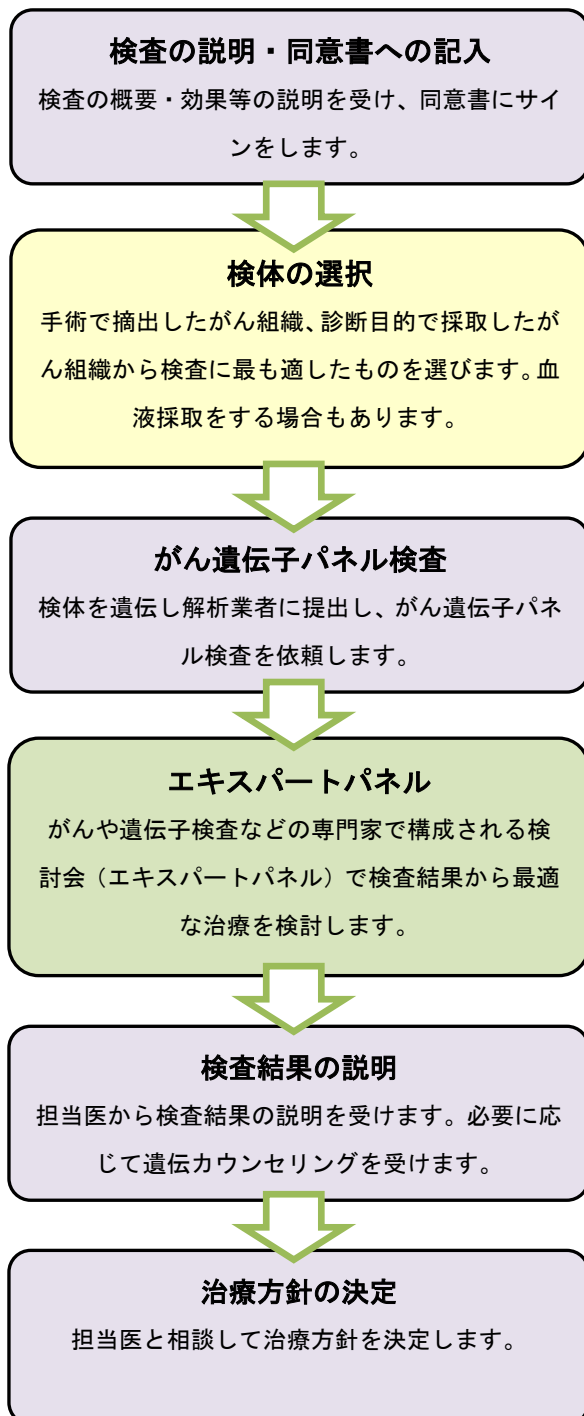
検査でわかること

治療の選択に役立つ可能性がある遺伝子変異がわかる可能性があります。

治療の効果が期待できる国内で承認済みの治療薬の情報が得られる可能性があります。

治療の効果が期待できる国内で臨床試験（治験等）中の治療薬の情報が得られる可能性があります。

検査の流れ



ご理解のお願い

- ・本検査を利用しても患者のがんの診断や治療に有用な情報が何も得られない可能性があります。
 - ・検査後の治療に関する費用は本検査の費用には含まれません。
 - ・候補の薬剤が見つかった場合でも、その薬剤が国で承認されていない場合には、薬剤の入手ができない、あるいは投与ができない可能性があります。
 - ・本検査はその治療効果を保障するものではないため、結果に基づいて治療を行っても、十分な治療効果が得られない可能性もあります。
 - ・検査の結果で候補として上げられた薬剤の使用に当たっては、必ず担当医の指示に従ってください。
 - ・検査の申し込みには、お渡しする説明文書の内容を理解した上で、患者さんご本人または法廷代理人の自署による同意書が必要となります。
 - ・本検査はがん細胞のみに起こっている遺伝子変異を調べる検査ですが、血液由来の正常遺伝子を同時に検査することにより、遺伝性腫瘍の発症に関連した遺伝子の変化（生殖細胞系列の遺伝子変異）などが見つかる可能性があります。
- 患者さんのご意思を尊重し、必要に応じて遺伝カウンセリングを行います。

個人情報の取り扱いについて

患者さんのお名前や検査結果などプライバシーの保護には十分な配慮を行っています。

この検査は検査委託会社及び解析委託会社にて行われますが、個人を特定できる情報が検査委託会社および解析委託会社に通知されることはありません。

お問い合わせ先

相澤病院 遺伝子診療科

33-8600 内線 7340

関連リンク

国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター

https://www.ncc.go.jp/jp/c_cat/index_kan_jya.html

国立がん研究センターがん情報サービス

https://ganjoho.jp/public/dia_tre/treatment/genomic_medicine/genmed02.html